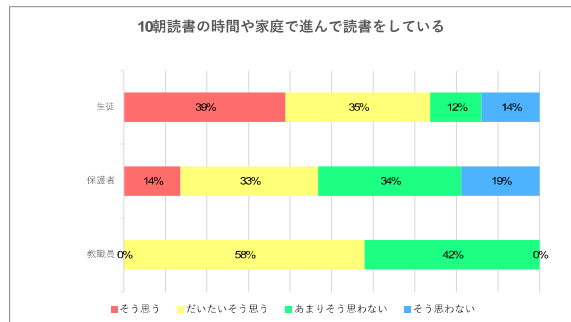
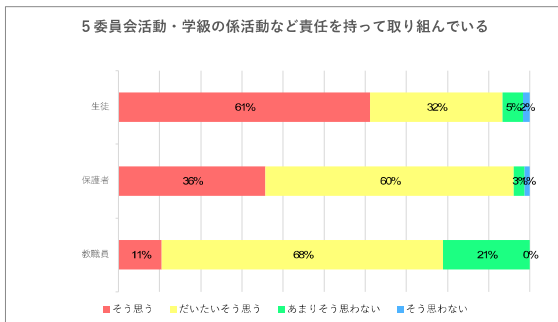
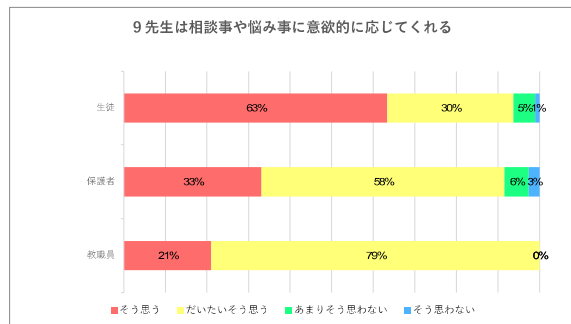
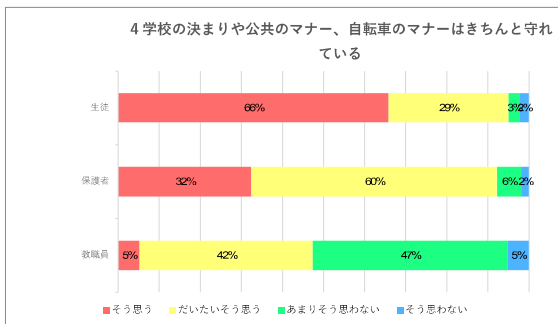
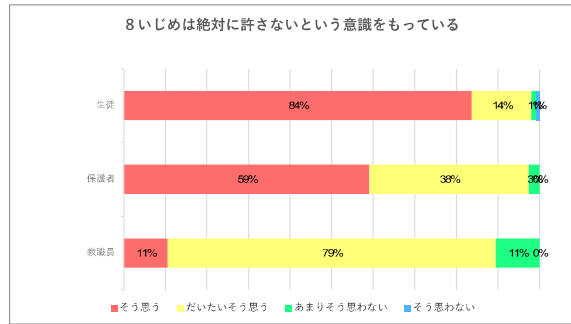
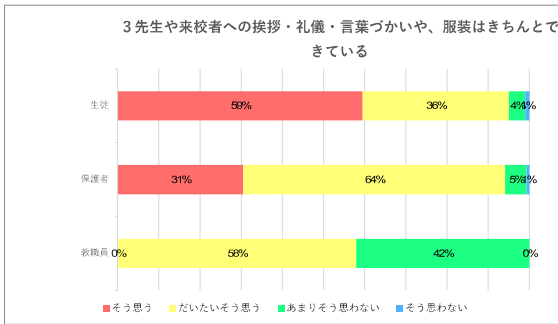
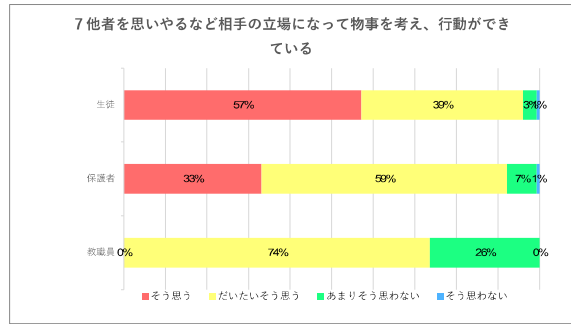
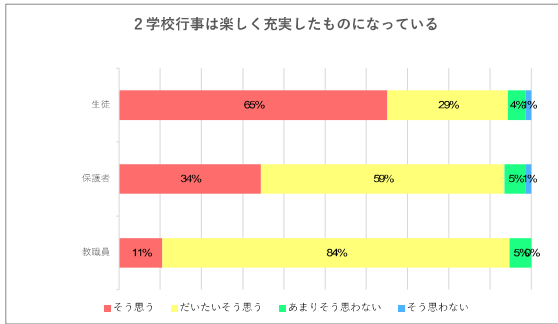
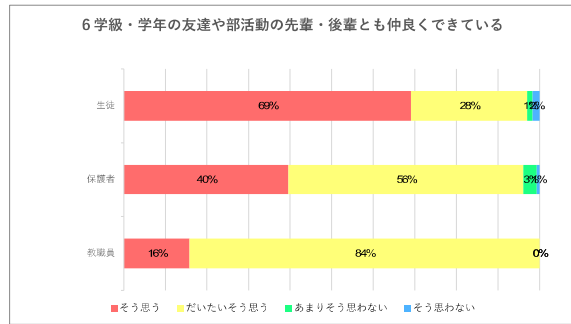
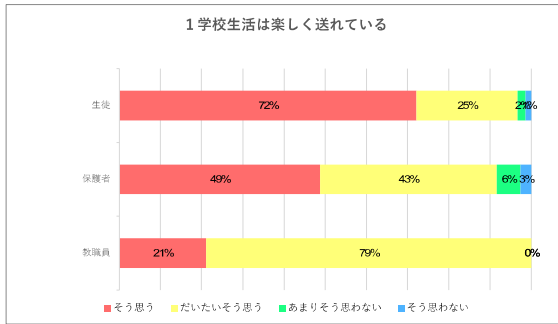
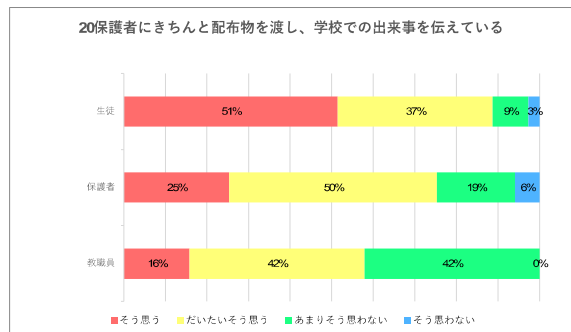
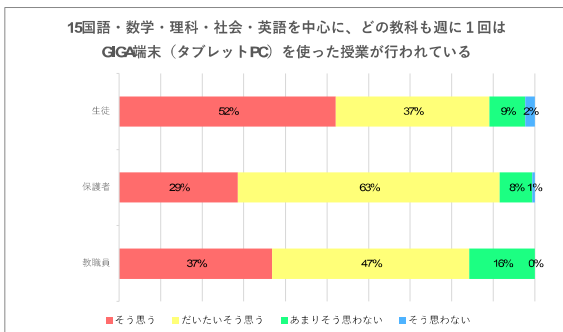
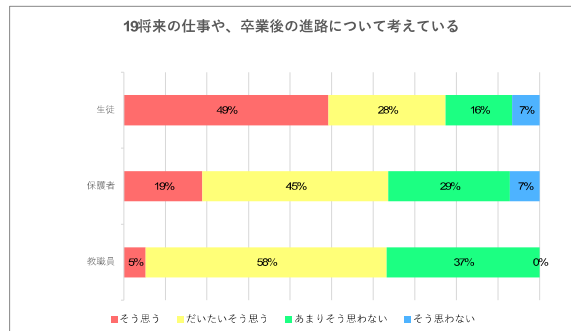
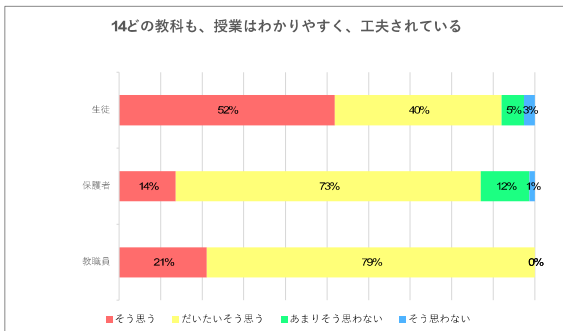
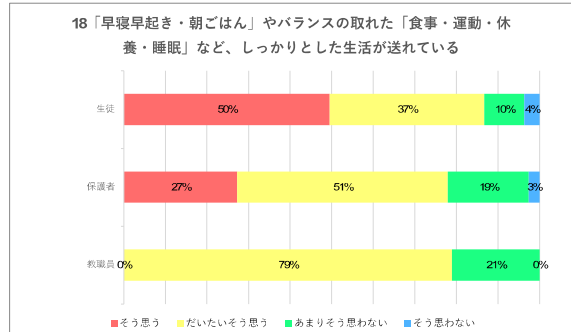
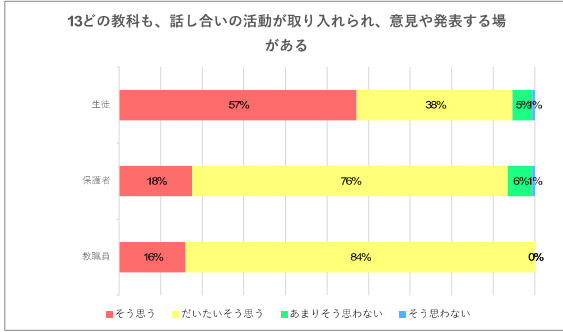
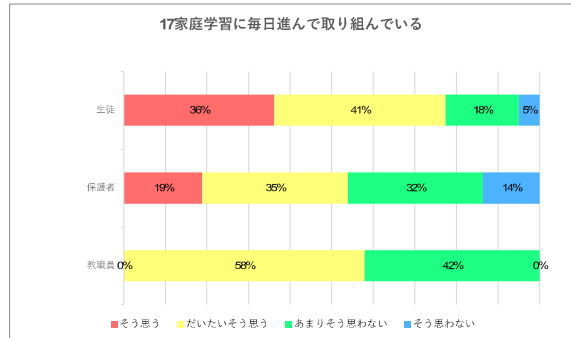
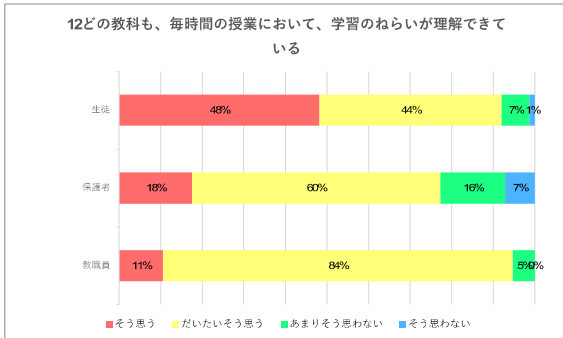
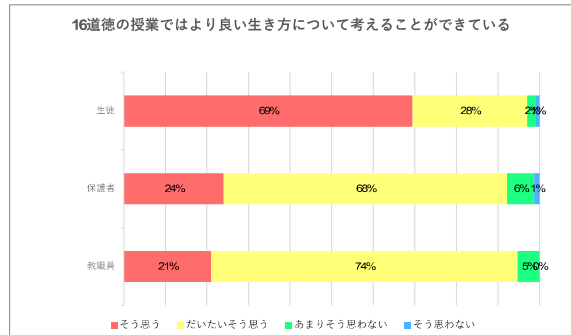
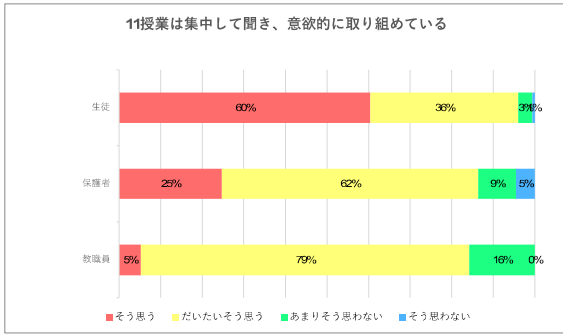


# 令和7年度 学校評価アンケート(前期)

## 京都市立大枝中学校





## 学校評価アンケート（前期）について（分析と今後に向けて）

◎7月に実施しました学校評価アンケート結果をお知らせします。保護者からは**154**件の回答をいただきました。

◎生徒・保護者・教職員ともに、学校生活や学校行事については「そう思う・だいたいそう思う」と非常に高く、特に「学校生活が楽しい」と感じている生徒の割合が非常に高くなっています。

◎「礼儀・マナー・服装」、「学校のきまり・公共マナー」については、生徒・保護者と教職員の「そう思う・だいたいそう思う」の回答に大きく開きがありました。生徒・保護者は自分のこと、お子様のことについて回答してもらっているためだと考えられます。

生徒会・委員会活動である「**CH**ウィーク」では、生徒が主体となって、あいさつや時間を守ること、学習規律・環境を整えるなどの目的で活動を行っています。「学校のきまり」についても生徒総会での意見を生徒会本部で協議しながら、見直しを進めているところです。

「礼儀・マナー・服装」、「学校のきまり・公共マナー」は中学校生活だけでなく、社会の一員として生徒に身につけてほしい力であると考えています。そのためにも「生徒自らの意志や判断に基づいて行動することはもちろん、自分の行動の結果に責任を持ち、自らの判断で物事を決定する態度」が身につけられるように支援するとともに、これまでの取組や手立てを再検討する機会として捉えていきたいと考えています。

◎授業理解度と教科別の傾向としては、教科によってばらつきが若干見られます。教科として課題を把握し「わかった・できた」を実感できるような授業づくりを目指したいと思います。**ICT**活用については、**2**学期より**iPad**が導入され使いやすくなったとの声もききます。**ICT**の効果的な活用についても研鑽してまいりたいと思います。

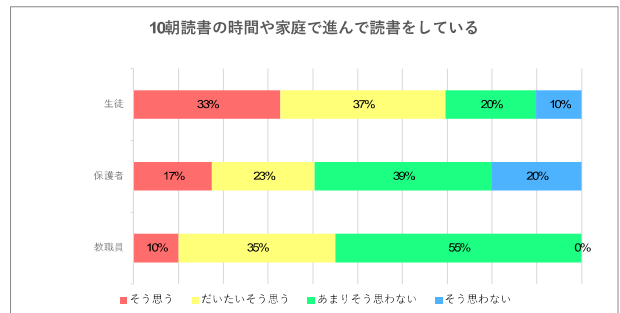
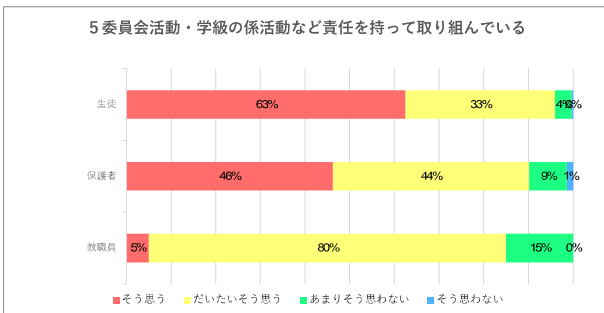
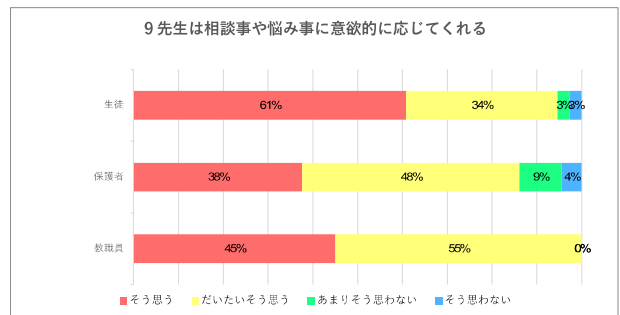
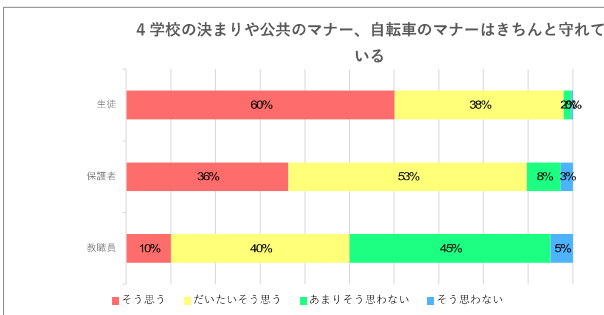
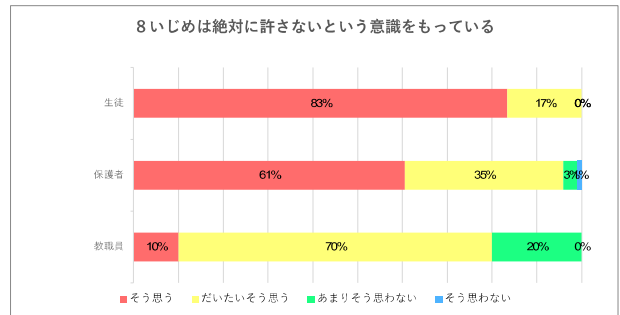
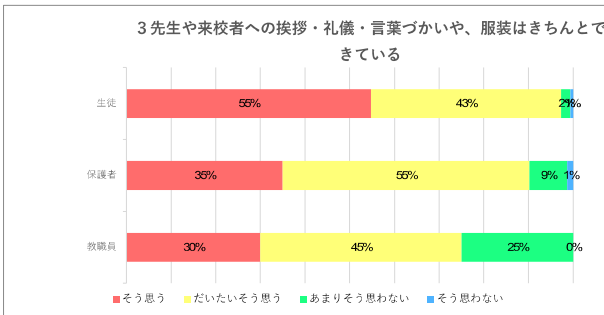
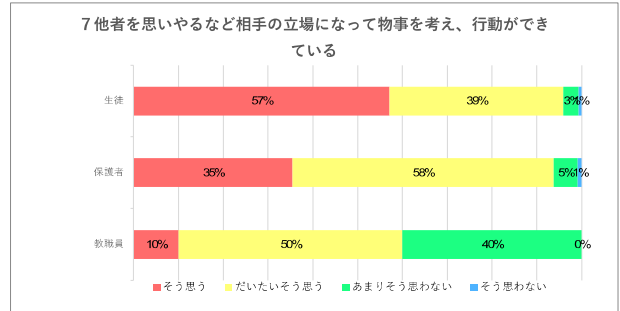
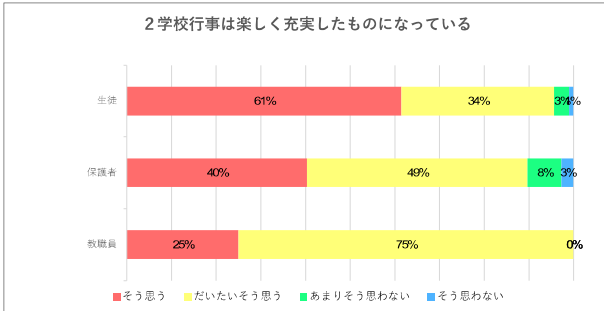
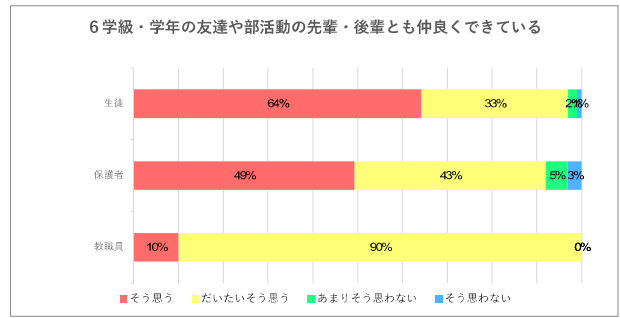
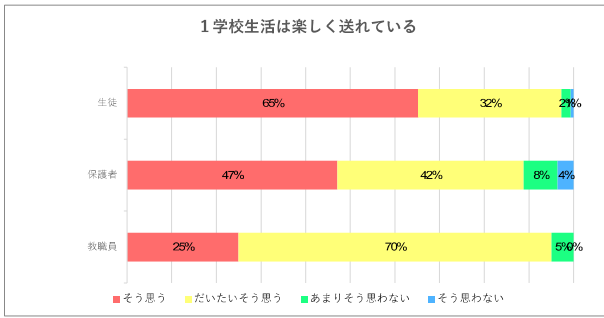
半面、懸念されることとして自分専用のスマートフォンの所持率も高く**SNS**等のトラブルも増えています。**SNS**等の注意については学校でも行っていますが、ご家庭で自分専用として持たせるときだけでなく、使用方法等について約束を決めたり、現状を確認する等、話題にしていただけたらと思います。

◎生活習慣や進路については、生徒回答が半数以下と低めで、家庭学習については習慣化できていない状況でした。チャレンジ体験や進路学活において、将来なりたい自分をイメージできるようキャリア教育の充実を図りたいと思います。と同時に、ご家庭におきましても規則正しい生活習慣の確立と進路実現に向けて正しい情報収集やアドバイス等、お子様との時間をとっていただければと思います。

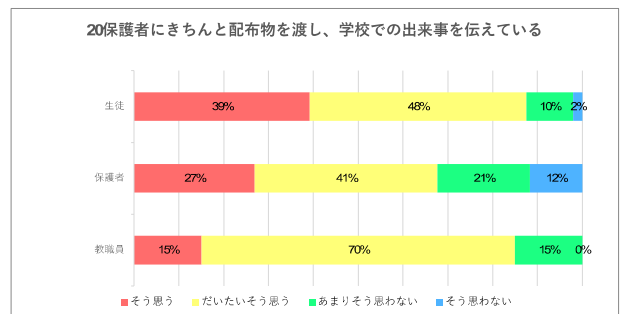
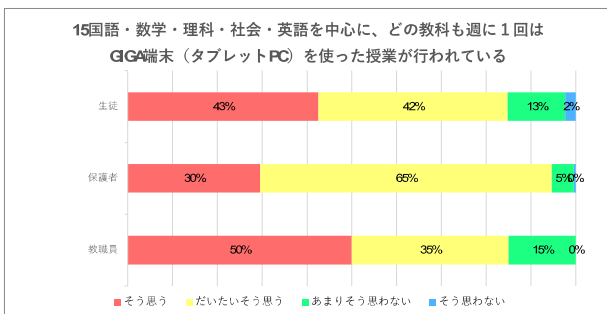
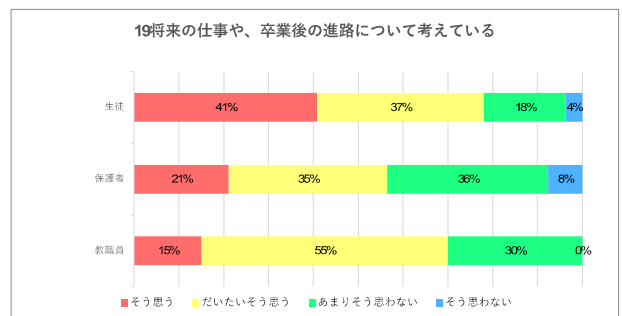
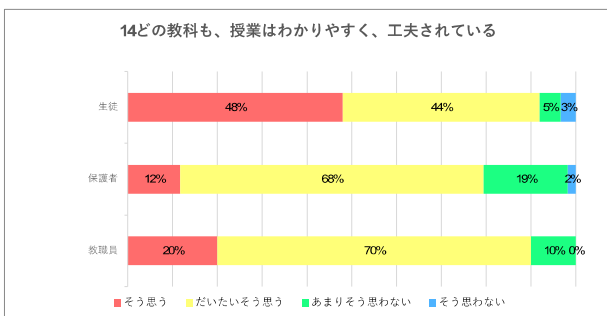
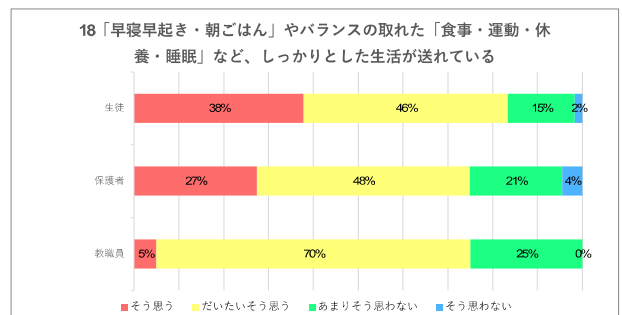
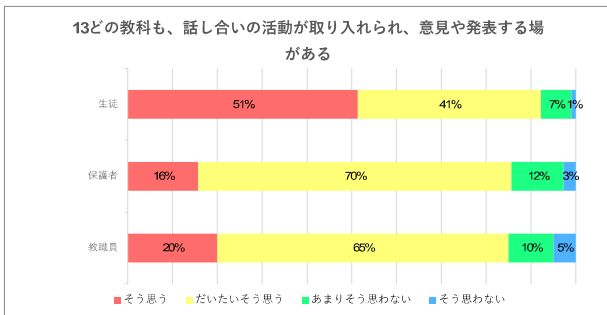
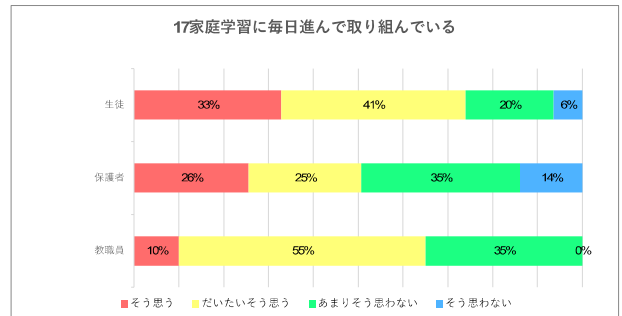
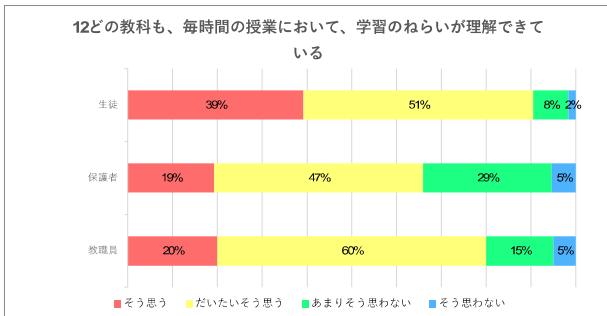
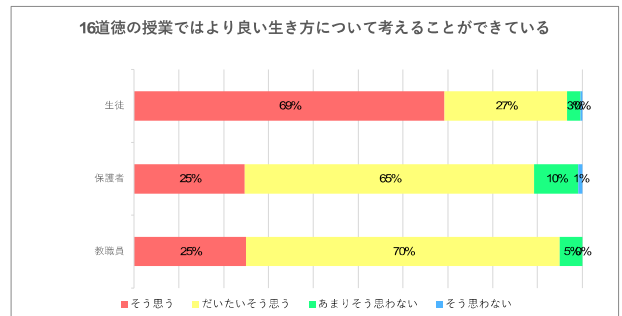
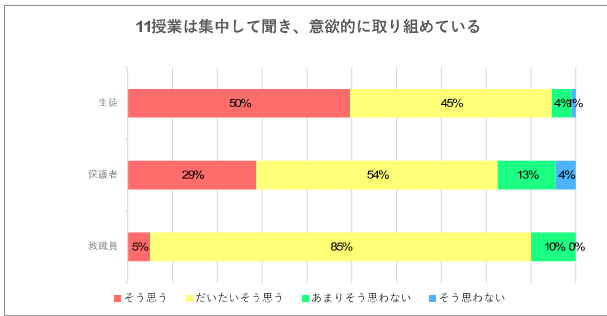
◎いじめ防止については、生徒の意識は高いですが、教職員は低い結果になっています。学校生活の中で仲間との関係づくりやコミュニケーションの取り方を見ていると、気遣いや配慮にかける場面が見受けられるようです。生徒の経験や価値観はそれぞれ違います。違うからこそ自分自身の思いを伝えるとともに、相手の思いを聴き、考え、お互いが少しずつ歩みより折り合いをつけることも学んでほしいと思います。

◎これから将来、多くの人と出会うことでしょう。中学校**3**年間で身につけられることは限られてはいますが、家庭・地域・学校が協力して、生徒たちが地域で安心・安全に過ごし成長できるよう、ご協力をお願いします。

## 令和7年度 学校評価アンケート(後期)



京都市立大枝中学校



## 学校評価アンケート(後期)について(分析と今後に向けて) (別紙結果参照)

◎12月に実施しました学校評価アンケート結果をお知らせします。保護者からは223件の回答をいただきました。

◎前期と比較すると、生徒・保護者・教職員とも、学校生活全般については「そう思う・だいたいそう思う」と高く横ばいの結果になっています。半面、生徒・保護者では、学習や進路に関する項目で「だいたいそう思う」が減少し、「あまりそう思わない」が増えています。教科授業での基本的な知識はもちろん、身につけた知識や技能等をどのように使いこなせるか、さらに他者との関係性の中でどう深めていけるかが大切になります。そのためにも、教科学習とともに、総合的な学習の時間での探究的な学び、人との関係性をよりよくするための人権意識の向上、相手への思いやりの気持ち、規範意識等の道徳的価値観を、中学校3年間で学べるよう系統立てていきたいと思っています。

◎進路についても、キャリア教育の一環としての高校進学ととらえ、その後の学校生活を終えて社会人としてどのような大人になりたいかをイメージできるようになってほしいと思っています。そのために、各学年のつながりを意識して、職場体験(チャレンジ体験)、卒業生の講演等、総合的な学習の時間と連動させていきたいと思っています。

◎2学期は学校行事や学年取組で生徒の活躍の場面が多くある半面、GIGA端末の不適切な使用の仕方やライン等のSNSトラブルも多発し、学習に集中できない状況もありました。授業に向かう姿勢を個人から学級や学年、学校全体で作り出すことはもちろん、SNSトラブル回避のための最低限のルールの意味を考えることを伝えていきたいと思っています。ご家庭でも今一度、お声がけをお願いします。

◎教科の課題提出については、teams やロイノートで行われるようになっていきます。副読本については次年度以降、精選を行い保護者への負担を軽減していく方向で考えています。そのため、GIGA端末でのミライシード(ドリル)等を活用できるよう、教科担当からも提示してまいります。自分のペースで計画的に学ぶ機会としてほしいと思っています。